

藤田医科大学 循環器内科 医局便り

2025年新年号

同門会の先生方へ

新年あけましておめでとうございます。井澤英夫教授より新年のご挨拶、また昨年末に行われました忘年会の写真をお送りします。



蛇のように柔軟かつ一歩ずつ前進する

井澤英夫

新年あけましておめでとうございます。12月中旬頃までは、久しぶりに感染症の流行を心配せずに過ごせる正月かと思っていましたが、年末から急激にインフルエンザと新型コロナウイルス感染症が増えて、同門の先生方も発熱患者の対応で休む間もない年末年始を過ごされたことと存じます。昨年は能登半島地震で始まり、羽田空港での日航機と海上保安庁の航空機との衝突炎上事故、愛媛や日向灘での地震とその後の南海トラフ地震臨時情報発表、台風10号、能登地方の大雨など、大きな災害や事故のあった1年でした。今年は大きな災害や事故もなく誰もが平穏に過ごせることができると願っております。

過去10年間における35才未満の診療科別医師数推移が厚生労働省から発表されています。その結果を見ると、専門分化が進んで医療機関の標榜科として減っている内科や外科を除けば、最も減少しているのが小児科で次が循環器内科という結果でした。医学部定員の増加に伴い35才未満の医師数は近年大幅に増加していて、消化器内科や腎臓内科、糖尿病内科、呼吸器内科などすべての内科が35才未満医師数を増やしている中で、唯一大きく減らしているのが循環器内科でした。私を含め医学教育の責任者である循環器内科教授は大いに反省すべきで、循環器内科の魅力が講義や実習を通して伝え切れていないのだと思います。また、初期研修医に対しては、循環器内科の醍醐味である夜間の緊急力ターテルに呼び出すこともできない医師の働き方改革に伴う現状の研修制度もリクルートの足かせになっているものと思います。

日本循環器学会もこの現状に危機感を持って医学生や初期研修医へのアピールと政府への働きかけを始めています。私が委員長を務めています日本循環器学会ダイバーシティ推進委員会には下部組織として女性循環器医師の会 (JCS-JC部会)、若手医師の会 (U-40部会から名称変更したNext generation部会)、特定行為看護師養成促進部会があります。循環器内科医の絶対数不足を解消するためには、若手医師、女性医師や診療看護師(NP)を含めた特定行為看護師の活躍が必須の課題と感じます。

私たちの医局でも母親として家庭と仕事を立派に両立している女性医師が何人もいます。また、近年では育児休暇を取得する医師も増えてきました。医局の誰もがプライベートと仕事の両方が充実した日々を送れるようになれば、それにより、新しい仲間も増えてくるのではと思います。忙しい中でも一人一人が怠ることなく常にチームや医局への貢献を考えながら動く集団を謙虚に目指していきたいと思います。実際、来年度は7名の優秀な人材が入局してくれます。医局の若い先生たちがリクルート対策のWeb会議を毎週開き、定期的に研修医を対象とした循環器勉強会を開くなどしてきた努力の賜だと思えます。臨床も忙しい中でリクルート活動にもがんばってくれている若い先生たちの努力には心から敬意を表します。また、同門会からは若手のリクルート活動に多大なご支援を頂いておりますことに改めて御礼申し上げます。

大学病院は昨年も全国82大学病院の中で厚労省から発表される主要診断群別ランキング (MDC) で、循環器系の第1位でした。医局の先生たちの頑張りの結果であり、若い先生たちにとっては豊富で多様な症例を経験して医局の目標である「総合的に優れた循環器専門医」として育ててほしいと願っております。また、心臓血管外科や血管外科、麻酔科、救急総合内科、放射線部、検査部、リハビリテーション部、看護部、薬剤部、栄養部を含めたチーム医療が有効に働いていることもMDC 1位の大きな要因と思えます。今年も、大学病院、ばんだね病院、岡崎医療センター、名古屋記念病院、碧南市民病院を核として、地域の循環器医療を医局員一丸となって支えていきたいと思えます。

昨年も一流英文雑誌に多くの論文を発表することができました。さらに、日本循環器学会のlate breakingでは石井先生、河合先生が発表し、CVITでも、ばんだね病院の良永先生がlate breakingで発表し、鈴木俊陽先生がYIAに選ばれました。また、医学部6年生の飯田君は日循東海地方会の若手セッションで最優秀賞となり3月の学術集会で開催される若手全国大会に東海支部代表で発表します。10月26日、27日には日循東海北陸合同地方会を私が会長を仰せつかり開催しましたが、同門会の先生方のご支援のお陰で過去最高の来場者数で大盛況でした。

この合同地方会でも医学部5年生の2人が最優秀賞に選ばれました。今年は7月に日本心臓リハビリテーション学会学術集会を私が名古屋で開催します。ばんたね病院の渡邊英一先生は11月に日本不整脈心電学会を横浜で開催します。同門の先生方のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

今年はへび年です。世界保健機構 (WHO) のロゴには舌を出した蛇が巻き付いた杖が描かれています。WHOのホームページを見ると、この杖はギリシア神話の医療神アスクレピオスの持つ杖を表していて、医療の象徴として救急車の車体に描かれていたり、日本医師会のマークに使われていたりしています。医療と縁深いへび年に一人でも多くの患者さんを助けることができるように頑張っていきたいと思います。

今年の藤田ハートカンファレンス・同門会総会は循環器内科講座開講50周年記念同門会総会として、6月7日（土）夕方に名鉄グランドホテルで開催いたします。同門の先生方には、引き続き、同門会活動と医局員へのご支援とご指導を何卒宜しくよろしくお願い申し上げます。先生方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



昨年末に行われた忘年会の様子



同門会新年会のご案内

同門会新年会を以下の日程・場所にて開催いたします。是非多くの先生方にご参集いただければ幸いに存じます。詳細は改めてご連絡申し上げます。何卒よろしくお願い申し上げます。

日程：2025年1月18日(土)

場所：桃花林

同門会総会、藤田ハートカンファレンスのご案内

藤田医科大学循環器内科同門会/藤田ハートカンファレンスを以下の日程・会場にて開催いたします。是非多くの先生方にご参集いただければ幸いに存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

日程：2025年6月7日（土）

会場：名鉄グランドホテル